



会議総括

国立研究開発法人防災科学技術研究所
総合防災情報センター
センター長
臼田 裕一郎

 **NIED 防災科研** 国立研究開発法人
防災科学技術研究所

総括（主な意見）

SIP4D

● 都道府県が情報システムに求める機能とは

- 情報収集・活用とは別に、状況判断・意思決定支援の機能が必要
 - ◆ 状況図、行動図は自ら、経過図、ハザード、気象台情報は外部支援で実現
- 初心者でも誰でも対応できる仕組み（特に情報収集か）
 - ◆ そのための業務標準化(SOP化)が必要になるはず
- どの組織・部署がどんな情報を持っているのか、どんな情報を求めているのかがわかる仕組み（カタログシステム）
- 「その災害に特化した重要な要素」をつかむことができること
- 紙とデジタルが共存、地図などの可視化が重要
- 情報入力を「→」や「⇔」にするべきではない、「○」にすべき
 - ◆ 一方で、共有できる情報、できない情報の統制が必要
- 現場に情報が届く仕組み

● 今後取り組むべきことは

- 国は、自治体ごとに別システムが立ち上がってしまっている現状を注視すべき
 - ◆ 自治体共通的な基盤部分と自治体個々特化部分があるべきでは
 - ◆ 国、自治体、民間企業まで繋がる「災害情報ハブ」を作るべき（地方発で国へ提言）
- やり続ける訓練、顔の見える関係づくり、自主性（被災者も）構築

- 15時39分頃、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）で噴火
- 火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）
- ロビーにて、NIED-CRS、情報利活用システムのデモを緊急実施

